

紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

「紫友同窓会会報」 の創刊に寄せて

紫友同窓会 会長 西中川 駿
(昭和36年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から同窓会運営にご支援、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、平成26年度の評議員会において、時の流れにより名簿の発刊を業者に委託することが承認されました。そのために同窓会の情報誌として、年1回の会報を発刊することになりました。ここにその創刊号（会報1号）

をお届け致します。

母校、鹿児島大学獣医学科は、平成24年4月に学内で9番目の学部として発足し、世界に通用する獣医師養成教育課程の認証を得るために、教職員一丸となって日夜努力されておられます。私達同窓会もこれらを支援するために、新設された9研究室への教育研究費の補助あるいは学部利用テントの寄附等、皆様方からの浄財の中から、これまでに計1,200万円の補助を行って参りました。これからも同窓生の絆を深めると共に、さらに皆様からのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

最後に母校の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、会報創刊号発刊のご挨拶と致します。

平成24年に創設された 共同獣医学部の現状と今後

昭和24年の農学部獣医学科発足当時は、5研究室（生理学、解剖学、病理学、細菌学、および臨床学）でしたが、このたび鹿児島大学9番目の学部として創設されました共同獣医学部は1学科（獣医学科）からなり、基礎獣医学、病態予防獣医学、そして臨床獣医学の3大講座に18教育研究分野（研究室）が、また附属施設として動物病院および越境性動物疾病制御研究センター（TADセンター）が設置され、これに獣医学教育改革室も加わり、教員数は45人（教授17、准教授12、助教3、特任准教授2、特任助教11：H27.10.1現在）となり、大きく発展しました。本年9月には、6階建の総合動物実験施設も完成、充実した動物実習が出来るようになりました。

設も完成、充実した動物実習が出来るようになりました。

獣医学科は昭和14年度から平成26年度までの76年の歴史の中で、2,328人の優れた学生を輩出、平成28年、29年の3月には現農学部獣医学科の学生がそれぞれ33人ずつ卒業予定であり、その後平成30年3月からは新たに共同獣医学部獣医学科の学生達が社会に巣立ち、紫友同窓会の会員に加わるようになります。

食の安全性確保及び感染症対策のグローバル化により、獣医学教育研究の視点は海外へも展開せざるを得なくなっています。共同獣医学部が近い将来、国際社会において協調とリーダーシップを発揮し、アジアの獣医学教育の拠点となりうる、また国際的評価に耐えうる獣医学教育を実践する学部へと、益々大きく発展することが期待されています。（事務局）



紫友 23期生の同窓会報告

(卒業50周年記念)

館本 秀夫(昭和43年卒)

昭和40年獣医学科卒業生(23期生)の卒業50周年記念同窓会が、平成27年10月20日(火)に鹿児島市西田町の日本料理「愛」で開催されました。卒業生32名のうち、物故者5名、連絡先不明2名の現況の中、15名が当日午後3時に農学部正門前に集合し、三浦直樹准教授(平成9年卒)の案内で共同獣医学部施設を見て回りました。23期生は木造校舎最後の卒業生で、懐かしき厩舎、馬場の跡を坂本絃君の説明を聞きながら、勉学よりもソフトボールに打ち込んだ学生生活を懐かしみました。小生が持参した卒業式写真の拡大版を見ながら、髪が豊かだった日々を思い出し、身近に迫った後期医療対象者が年を



忘れて焼酎を飲みました。23期生は同窓会を卒後46年目から毎年各県在住者が幹事を務めて、京都、鹿児島、愛知、北九州市で開催し、平成28年は大分市、平成29年は熊本県菊池温泉を予定しています。

紫友 25期生の同窓会報告

富澤 勝(昭和42年卒)

第4回目の同窓会は、平成26年9月25日、鬼怒川温泉で行われました。冒頭、鬼籍に入られた、峯、石踊、中附、橋本、川上5氏に黙祷を捧げ、冥福を祈りました。写真前列右から、肝付さんは今回地元での幹事を精力的



にこなし、同期生一同に感謝されていた矢先、今年4月に亡くなり、鮫島さんは大学非常勤講師を続けられ、今回も夫人同伴の参加、昇さんは同窓会の会長で中国語等多趣味で夫人同伴の参加、吉田さんは動物病院を経営され、ご夫婦でゴルフを楽しんでいます。写真後列右から、宮城さんは102歳の母親の介護の傍ら、趣味三昧の生活のようで、関屋さんは、習志野市で動物病院を続行、永井さんは、悠々自適で野菜づくりに精出してしています。上村さんは荒尾競馬場を引退後、令息の勤務先(美浦)を往来、お孫さんと楽しく過ごし、安田さんは農水省を退職され、この度瑞宝小綬賞を叙勲。鈴木さんは獣医学博士号を取得、釈迦入滅の地を訪れ本を出版、二間瀬(山下)さんは、定年後も非常勤家畜防疫員として農家を巡回、富澤も動物衛研定年後は、取手市で動物病院を継続、中村さんも熊本市で動物病院を続けています。翌26日、貸切バスで近隣を観光、金谷ホテルで虹鱒の昼食を堪能したのち、次回の再会を楽しみに解散しました。

紫友 46期生の同窓会報告

窪田 力(平成2年卒)

私達獣医学科46期卒業生は現在27名で卒業15年目から5年おきに同窓会を開催しており、9月20日に卒業25年目、3回目の同窓会を鹿児島市内で開催しました。今回はシルバーウィークまったただ中でしたが15名が出席しました。また、ご多忙な中、阿久沢先生(内科学)にもご参加していただきました。当日は鹿児島黒豚のしゃぶしゃぶと焼酎を飲食しながら、阿久沢先生から健康の大切さの講義をありがたく拝聴し、出席者近況報告などをしながら一次会はあっという間に過ぎ、その後二次会、三次会と天文館の夜はふけていった同窓会でした。年月は経過しても、同期はいつでも同期のままいいものです



(容姿はかなり変わりましたが)。これからも鹿大獣医学科の卒業生として使命を果たすとともに健康には十分留意して4回目(卒後30年)を全員で迎えることができることを祈念しました。

同窓会活動便り

◆名簿作成の外部業者委託

従来、会員名簿は事務局で作成してきました。大学改革により教員の職場環境は大きく変わり、事務局作業も厳しい状況になっている中、平成18年以降は、大学を定年退職された石黒副会長（現監事）に名簿作成や会費納入案内発送など、ご無理をお願いしておりました。しかし、これ以上ご厚意に甘えるわけにもいかず、本年度からは外部業者（小野高速印刷株式会社）に委託することを評議員会で決定致しました。これに伴い、今後会員名簿は有料化（3,000円/冊）となります。

◆同窓会報の刊行

会費振込用紙配達の業者委託に伴い、新たに同窓会報を創刊、会費振込用紙と共に同封し、会員諸氏の情報交換を活発化することになりました（今回お届けしているこの同窓会報が創刊号）。毎年発行予定ですので、掲載可能な会員諸氏の情報事務局までお寄せください。

◆ベストクラスメート賞

平成21年度から毎年、卒業生の中からクラスの取りまとめを最も熱心に行った男女各1人を、ベストクラスメート賞として同窓会から表彰しております。平成25年度までの表彰者は、同窓会誌「紫友 23号」に記載しておりますが、平成26年度は、遠矢翔太会員、藤又千晶会員でした。

◆奨学寄附金等の贈呈

平成26年度は、新設共同獣医学部への TENT 2張の寄贈、実験動物学研究室（平成26年3月設置）及び共同獣医学部へ各50万円の奨学寄附金を贈呈しました。

◆会計報告

平成26年度の一般会計収支決算書（平成27年度6月20日の評議員会で承認）の概要を表1に示しました。収入

4,317,823円に対し支出2,819,716円で、1,498,107円が繰越額です。なお、平成26年度学術基金の収支決算では、収入7,067,583円に対し、1,273,300円の支出があり、5,794,283円が繰越額となっています。

表1 平成26年度一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	予算	決算
収入	繰越額	2,622,900	2,622,900
	会費	1,050,000	1,350,000
	学生会費	300,000	280,000
	入会金	15,000	14,500
	雑収入	1,100	423
	繰入金	50,000	50,000
	合計	4,039,000	4,317,823
支出	会誌発行費	2,400,000	2,164,752
	通信費	300,000	201,775
	寄付費	200,000	100,000
	備品費	200,000	37,800
	会議費	150,000	95,040
	人件費	100,000	0
	その他	689,000	220,349
	合計	4,039,000	2,819,716

◆会費等納入のお願い

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（1,500円）及び学術基金（寄附金、一口500円）から成り立っています。皆様方からの浄財は、名簿作成、会報発行、共同獣医学部への支援等に、大切に使用させていただきます。今後とも、同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

◆学部教員の異動

新任：秋岡 幸兵 特任助教（組織病理学 H26.11.1）
石川 真悟 助教（産業動物内科学 H27.4.1）
高橋 雅 助教（伴侶動物内科学 H27.5.1）
浅野 淳 教授（実験動物学 H27.9.1）
十川 英 特任助教（動物病院 H27.10.1）

（着任日順）

辞職：瀬戸口明日香 准教授（伴侶動物内科学 H26.12.16）
野口 倫子 助教（産業動物内科学 H26.3.31）
高木 光博 准教授（産業動物獣医学 H27.7.31）
川口 博明 准教授（組織病理学 H27.7.31）
徳永 暁 特任助教（動物病院 H27.8.31）

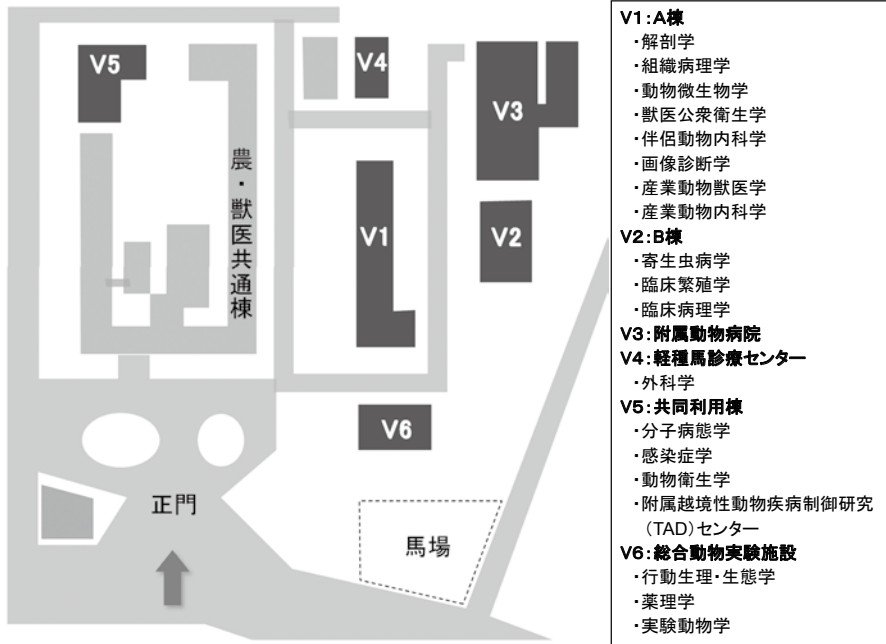
（辞職日順）



バーチャルスライドを利用した山口大学との双方向遠隔授業（獣医組織学実習）

◆学部関連施設

共同獣医学部の関連施設のマップ及び写真を掲載致しました。総合動物実験施設（V6）は本年9月に、旧馬場跡に完成したばかりです。（馬場は道路側に移動）



- V1:A棟**
- ・解剖学
 - ・組織病理学
 - ・動物微生物学
 - ・獣医公衆衛生学
 - ・伴侶動物内科学
 - ・画像診断学
 - ・産業動物獣医学
 - ・産業動物内科学
- V2:B棟**
- ・寄生虫病学
 - ・臨床繁殖学
 - ・臨床病理学
- V3:附属動物病院**
- V4:軽種馬診療センター**
- ・外科学
- V5:共同利用棟**
- ・分子病態学
 - ・感染症学
 - ・動物衛生学
 - ・附属越境性動物疾病制御研究 (TAD)センター
- V6:総合動物実験施設**
- ・行動生理・生態学
 - ・薬理学
 - ・実験動物学



◆同窓会役員 現役員名簿は下記のとおりです。

会長	西中川 駿(36)		
副会長	大山 英隆(37) 松元 正治(39) 新納 時英(44) 出口栄三郎(49)		
監事	石黒 茂(41) 鶴田 勉(49) 吉満 文隆(57)		
評議員 選出母体 学外	畜産課	佐々木幸良(58) 古川 雅浩(58)	
	県生活衛生課	藤元 英樹(61) 我部山 厚(04)	
	畜産試験場	山下 静馬(53)	
	中央家保	上村美由紀(61)	
	県食肉検査所	徳田 祐二(57)	
	市保健所	伊地知洋幸(54)	
	市食肉検査所	岸良 弘昭(54)	
	市公園公社	石堂 昭憲(50)	
	経済連	川畑 忠祐(13)	
	開業	上村 利也(02)	
一般	堀之内達男(33) 松元 計士(36) 坂本 紘(40) 永野 保任(41) 安田 宣紘(43) 梶 哲郎(44) 田原 健(45) 高橋 亘(46) 西迫 誠(50) 櫻井 幹男(51) 北野 良夫(52) 紺家 亮爾(52)		
	鹿大医	青山 公治(49)	
	評議員 選出母体事務局	高瀬 公三(50) 松元 光春(55) 宮本 篤(57) 三角 一浩(61) 帆保 誠二(62) 小尾 岳士(02) 窪田 力(02) 藤木 誠(07) 三浦 直樹(09) 矢吹 映(09) 安藤 貴朗(13) 高橋 雅(16)	

◆訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

柚木 弘之 (旧職)
 宇田川 哲 (17) 山口 省吾 (17) 小山富美雄 (19)
 西 勉 (22) 肥後富士夫 (22) 松元 質 (23)
 鮫島 都郷 (29) 山田 一郎 (36) 宮川 俊一 (38)
 石踊孝三郎 (42) 橋本 史 (42) 上村 亮三 (56)
 赤松 基次 (H11) 南野 正樹 (H23)

(敬称略：平成26年5月～平成27年3月末にご逝去)

編集後記

今回の創刊号は学部のキャンパス写真等を含めて4ページにわたって掲載しましたが、次号以降は原則として2ページになる予定です。わずかなページですが、毎年の会員諸氏及び学部の大切な情報交換の場として充実したものになるよう心掛けて作成させていただきます。お気づきの点がありましたら、また皆様方からのホットな情報をお待ちしています。なお、本会報のタイトル文字は会員のご好意により揮毫されたもので、ここに謝意を表します。(編集委員会)

連絡先

鹿児島大学共同獣医学部産業動物内科学研究室内
 紫友同窓会 (事務局)
 TEL : 099-285-3538 /8711 (FAX 兼用)
 E-mail: k2088185@kadai.jp
 (お願い：出来るだけFAXまたはメールをご利用ください)